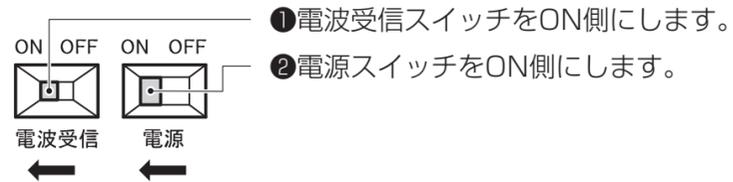


# 1. 電波を受信して時刻を合わせましょう

## 1 裏面のスイッチを設定します



- ①電波受信スイッチをON側にします。
- ②電源スイッチをON側にします。

## 2 リセットボタンを押します

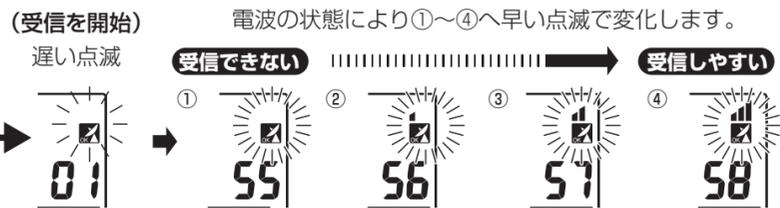


先の細いボールペンなどで押してください。

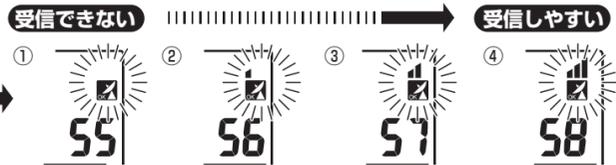
## 3 窓際などの明るく、電波を受信しやすい場所で受信させます

## 4 受信結果を確認します

<リセットボタンを押した直後>



電波の状態により①～④へ早い点滅で変化します。  
(受信を開始) 遅い点滅



**チェック!**  
1～2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は、受信できませんので場所を変えてリセットボタンを押して再度受信を開始させてください。

## アドバイス

家電製品・OA 機器などからのノイズにより、電波を受信できない場合や誤受信して誤った時刻を表示することがあります。  
▶「4. 電波を受信できない場合」を参照してください。



<受信開始>

最長12分くらい

受信に成功すると受信マークが点灯



(受信に成功したときの表示例)



(受信に失敗したときの表示例)

<正しい時刻を表示しません>

## Q&A

### 光発電するのに、なぜ電源スイッチがついているの？

光発電できないところでも時を刻み続けるために、電池を内蔵しています。電源スイッチは、この内蔵電池が消耗しないようにするためです。時計を使わないときは電源スイッチをOFFにしてください。

### リセットと強制受信の違いは？

リセットは、回路を初期化して西暦2005年1月1日 午前12時00分に設定してから受信を開始します。強制受信は、受信に成功したときのみ表示時刻などを修正します。

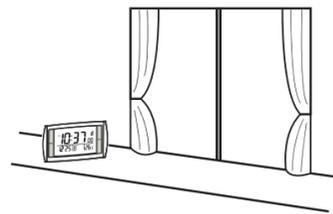
# 2. ご使用場所について

## 明るい場所でご使用ください。

この時計は明るい場所では光発電で、暗いところでは内蔵電池で動いています。200ルクス(明るいオフィス、リビング内)の明るさで1日あたり8時間以上使用するとおおよそ8年間で使用いただけます。ご使用場所によっては、蛍光灯などの光源との位置関係や室内の照明時間など条件を満たさない場合があります。

## 電波の受信しやすいところでご使用ください。

この時計は標準電波を受信することにより、時刻を修正しますので、電波の受信しやすい部屋の窓際などでお使いください。



このほかの使用場所の条件などは、裏面「ご使用場所の注意」をお読みください。

## 電波を受信しにくい環境について

次のような場所では受信できない場合や誤受信することがあります。



ビルの地下など



高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く



金属製の雨戸やブラインドの近く



家電製品やOA機器の近く、又はスチール机等の金属製家具の上や近く



工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起る所。



朝夕の時間帯、雨天のとき

# 電波時計について

## 電波時計とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせします。

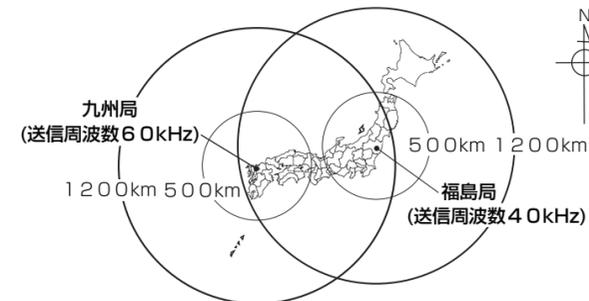
## 標準電波とは

日本標準時をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。  
※標準電波の時刻情報は、おおよそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

## 受信可能な範囲

送信所からおおよそ1200kmの範囲です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用するときには電波受信スイッチを「OFF」にして使用してください。

## アドバイス

今まで受信できていたのに、急に受信できなくなった場合。

- 近くにノイズの発生源がある可能性があります。場所を変え、強制受信ボタンを押して、受信できるか試してください。
- 送信所の定期点検や落雷などにより送信が停波(停止)する場合があります。停波については情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

## アドバイス

内蔵電池の交換は販売店にご相談ください。内蔵電池の残量が少なくなると、表示が薄くなったり時間が合わなくなるなどの現象が発生します。電池の交換はご家庭で行わないで、販売店にご相談ください。

CITIZEN®

# 電波時計

デジタル掛・置兼用時計

# 取扱説明書

## ～ 製品の特長 ～

標準電波を自動的に受信して現在時刻を自動修正

光を電気に変えて時計を動かしています

便利なカレンダー・温度表示

- お買い上げありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
  - この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

取扱説明書番号 8RZ031-2

# アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について  
この時計の修理用性能部品(電子回路等)は製造打ち切り後、7年間で基準に保有しています。ただし、外装部品(ケース・文字板等)の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。
- 修理可能期間について  
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合  
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。お問い合わせに際しては、型番「8RZ031」をお伝えください。

## お問い合わせ先

■お客様相談室 フリーダイヤル ☎0120-557-005

受付時間 9:00～17:45 (土日および祝日、当社休日を除く)

発売元 リズム時計工業株式会社

本社 ☎330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12  
http://www.rhythm.co.jp

### 3. 各部の名称と役割について

**【時計正面】**  
(時刻優先表示例)

**ソーラーパネル**  
光を受けて発電します。

**時刻表示**  
時・分・秒を表しています。手動で時刻合わせをするときは西暦年を表示します。

**受信マーク**  
受信中:点滅  
受信成功:点灯 受信失敗:消灯

**午前／午後表示部**  
12時間制表示のときに午前または午後を表示します。24時間制のときには表示されません。

**カレンダー表示部**  
月、日、曜日表示します。曜日により表示する位置が変わります。

**温度表示**  
温度を10秒ごとに測定して表示します。  
測定範囲 -9.9～+50℃  
測定誤差 0～+40℃の範囲で±2℃以内  
測定範囲外 低温:LL 高温:HHを表示  
※センサーが時計内部にあるため、周囲の温度を反映するには時間がかかります。

**【裏面操作部】**

**電源スイッチ**  
ON:電源が入ります。  
OFF:電源が切れます。

**電波受信スイッチ**  
ON:電波を受信します。  
OFF:電波を受信しません。

**強制受信ボタン**  
場所などを変えて受信を試みるときに先の細いボールペンなどで押します。電波受信スイッチが「OFF」のときは機能しません。

**リセットボタン**  
電源スイッチを「ON」に切り替えた後や静電気などによる誤作動したときに先の細いボールペンなどで押します。西暦2005年1月1日午前0:00にセットされます。

**表示切り替えボタン**  
表示を時刻優先／月日優先を切り替えます。ボタンを押すと交互に切り替わります。時刻合わせ中は使えません。

**12／24H切り替えボタン**  
進むボタン・戻るボタン  
手動で時刻合わせをするときに使用します。進むボタンは12/24時間制表示の切り替えボタンも兼用しています。時刻合わせ中は使えません。

**時刻合わせボタン**  
手動で時刻合わせをするときに使用します。

**（月日優先表示例）**

**【時計裏面】**

**壁掛け穴**

**スタンド** 開く / 閉じる

**注意**  
置時計として使用するときには、スタンドを広げてください。掛時計として使用するときにはスタンドを閉じてください。  
※スタンドを無理に広げたりすると、スタンドが外れたり破損することがあります。無理な力をかけないでください。

### 4. 電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく  
夜間は電波状況が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
  - 場所を変えて受信をやり直す  
電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所(取扱説明書の日本地図を参考に)、なるべく時計の正面または裏面が向くように置き直します。次に、時計裏面の先の細いボールペンなどで強制受信ボタンを押して、3～12分間そのまま待ちます。受信に成功すると正しい時刻を表示します。
- 受信できない場合は、下記操作でご使用になれます。**
- 手動での時刻の合わせ方  
下図の操作例を参考にして、カレンダーおよび時刻を合わせてください。
  - 進むまたは戻るボタンを1回押してすぐ離すと1つ単位で進んだり戻ります。
  - 進むまたは戻るボタンを押し続けると早送りになります。
  - ※電波受信スイッチが「ON」のときは、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると自動的に時刻・カレンダーを修正します。
  - ※約30秒間操作されなかったときには、表示されている内容に更新して、通常の表示に戻ります。
  - ※手動で時刻合わせをすると時間精度はクオーツ精度になります。
  - ※強制受信中に時刻合わせボタンを押した場合、時刻合わせ操作になりますが、操作例と異なり、月日および曜日の表示がされた状態になります。

操作例は、2005年1月1日から2006年12月25日午前10:30に合わせています。

- ①時刻合わせボタンを、西暦が点滅するまでおよそ2秒間押し続けます。
- ②進むまたは戻るボタンを押して西暦を合わせます。
- ③時刻合わせボタンを押します。「月」が点滅します。
- ④進むまたは戻るボタンを押して月を合わせます。
- ⑤時刻合わせボタンを押します。「日」が点滅します。
- ⑥進むまたは戻るボタンを押して日を合わせます。
- ⑦時刻合わせボタンを押します。「時」が点滅します。
- ⑧進むまたは戻るボタンを押して「時」を合わせます。
- ⑨時刻合わせボタンを押します。「分」が点滅します。
- ⑩進むまたは戻るボタンを押して「分」を合わせます。
- ⑪時刻合わせボタンを押します。カレンダーおよび時刻合わせは終了です。

**秒は⑧および⑩の進むまたは戻るボタンを押したとき、0秒に設定されます。曜日は自動的に設定されます。**

**注意**  
静電気により、内蔵されているマイコンが誤作動し、時間違いなどが発生することがあります。この場合は、時計裏面にあるリセットボタンを先の細いボールペンなどで押してください。

### ご使用上の注意

- ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。
- 表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。
- 警告** この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
  - 注意** この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。
  - 禁止** この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
  - 強制** この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
  - 警告** 小さな部品や小形の電池(ボタン形、コイン形および単4形、単5形など)は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。
  - 分解禁止** 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。
  - 注意** 時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。
  - 注意** 表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸でよく洗い流してください。口や目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。
- お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

### ご使用場所の注意

- 下記の場所では使わないでください。  
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。
- 温度が+50℃(50度)以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃(氷点下10度)以下になる所。(プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。)
- 浴室など、湿気の多い所。
- ほこりが多く発生する場所。(空気中のちり等が機械部にたまって、時計が止まる可能性があります。)
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。(磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まる可能性があります。)
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。(霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。)
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

### お手入れについて

- 長くご愛用いただくために、2～3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめします。販売店にご相談ください。
- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水で、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
  - ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
  - 時計を壁に掛けたとき、静電気により壁などが汚れることがありますので、定期的に掃除をしてください。

### 掛けてご使用になる場合

掛時計としてご使用になるときは、スタンドを閉じて、落下しないように取り付け面に適した掛け具を使用してください。

**木の柱または木質の厚い壁面の場合**

- 付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

壁掛け穴 9～11mm 木の柱または木質の厚い壁面

**その他の壁面の場合**

- 上記以外の場所(コンクリートなどの壁面)に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。
- 時計を掛けた時は、上下、左右に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。

時計の掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

引っかかっていない / 引っかかっている

### 製品仕様

時間精度	標準電波の受信に成功していた場合の表示誤差(受信直後) ±1秒以内 自動受信回数 1日2回～最多6回 標準電波を受信できなかった場合 平均月差 ±30秒以内(常温中のクオーツ精度)
使用温度範囲	-10～+50℃(液晶表示可読範囲0～40℃)
電源	電池/ソーラー発電併用(ソーラー式電卓が使用できる明るさ以上で発電) 1次電池:二酸化マンガンリチウム JIS規格 GR2477 × 2 2次電池:二酸化マンガンリチウム JIS規格 ML2016 × 1 ソーラーセル:薄膜太陽電池 電池寿命:内蔵電池単独で約5年 ソーラー併用で約8年(200LXの明るさで1日8時間以上発電)
その他	電波受信ON/OFF切り替え、標準電波による時刻修正 時刻表示12/24H切り替え 時刻/月日優先表示切り替え カレンダー表示:2004～2099年対応 温度表示:-9.9～50℃(誤差:0～40℃の範囲で±2℃)

- ※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
- 液晶表示はおよそ5年を過ぎると表示が読みにくくなります。
  - 0～40℃の温度範囲を超えた場合、液晶表示が読み取りにくくなる場合があります。
  - ソーラーパネルは、室内用ですので直接太陽光などの強い光を受けると性能が低下します。
  - 時計を廃棄するときには、お住まいの地区の基準に従ってください。